

ニュートン・ムワンサ・チサンガ（チチ）

ミンドロ・エキュメニカル財団（MEF）

ザンビア共和国・カッパーベルト州 キトウェ

民族 / 部族: ベンバ
母語: ベンバ語
宗教: キリスト教
職業: 農場スタッフ



仕事について：

「良いリーダーとは、情熱的で、力強く、聞き上手であり、自分についてくる人々を大切にする人だと思っています。…私生活では、自己尊重、自己評価、献身、他者への前向きな配慮を大切にしています。」

ザンビアのコッパーベルト地域出身の農業者ニュートン・チサンガは、熱心なブレザレン・バプテストのクリスチャンであり、ミンドロ・エキュメニカル財団の勤勉なスタッフです。彼は、キリスト教の神学を反映したMEFの中心的価値観に惹かれ、実践的な訓練プログラムの指導や、農場や鶏舎、豚舎の世話を通じて、財団で奉仕しています。また、アウトリーチセッションの主催や福音宣教を通じてコミュニティとの関わりを持っています。

MEFでは、アグロエコロジーの技術を教える複数の研修プログラムを管理しており、アジア学院で、気候変動への適応とレジリエンスに関する知識を深め、将来的な課題に備えたいと考えています。また、地元で応用可能な有機農業の技術も学びたいと願っています。

帰国後は、特に生態系保全の分野で、MEFが地元においても国際的にも協働できるパートナーシップの強化を手助けする予定です。

送り出し団体について：

ミンドロ・エキュメニカル財団は1959年に設立され、キトウェの地で神学的な教えと実践的な農業技術コースを開講し、コッパーベルト地域全体のコミュニティのための働きを担ってきました。その名の通り、宗派に関係なくさまざまな教会で奉仕を行っています。

MEFは、チチがアジア学院に派遣され、新たな知識と手法を得ることで、彼の農業教育の技能がさらに向上することを期待しています。また、彼の研修を、より具体的な農場や畜産のプログラム作りに生かし、アグロエコロジーの最善の実践を人々に分かち合いたいと願っています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)